

コード No.

提出日：令和 3 年 5 月 11 日

**令和 2 年度「庭野平和財団 NPF プログラム“緊急助成”」報告書**

特定非営利活動法人名古屋 NGO センター

田口裕晃

1. プログラムの目的

新型コロナウイルス感染拡大に際し、活動の継続的な実施や組織運営が困難になり、支援が必要になった組織・団体に対して、緊急助成を行う。

2. 主な活動内容・スケジュール

内容	詳細	スケジュール
JANIC との連絡調整	本業務について JANIC 担当者との連絡調整を行った。	2020 年 11 月～ 2021 年 1 月
広報業務	募集要項の作成 当センター加盟団体に助成プログラムについての広報を実施した。 メーリングリストへの投稿、ニーズがありそうな団体への個別アプローチを実施した。	2020 年 11 月
相談業務	申請内容について相談対応(メール、電話など)を行った。	2020 年 11 月
申請書の受付	申請書の受付業務を実施した。(申請受理の連絡、不備のある団体に対して不備内容の指摘など)	2020 年 11 月下旬
とりまとめ	指定フォーマットに応募団体の申請内容をまとめた。	2020 年 11 月下旬 ～12 月上旬
優先順位付け	当センターの理事 2 名とスタッフ 1 名にて予備審査を実施後、優先順位付けの会議を実施し、申請内容や団体の現状を考慮し、優先順位を決定した。	2020 年 12 月上旬

3. 活動の成果 (成果物などがありましたらご紹介ください)

- ・計 7 団体からの申請を受け付けることができ、内 3 団体が採択に至った。
- ・3 団体のコロナ禍における緊急支援のサポートを間接的に実施することができた。
- ・当センターの加盟団体 44 団体、またその関係者に庭野平和財団の助成プログラム、財団の概要について広報することができた。

4. 今後の課題

- ・事前に助成対象と想定される活動について具体像を双方で共有して募集要項に反映させること。
- ・広報の時期を早め、応募団体に対してゆとりのあるスケジュールを組むこと。